

## 令和 5 年 アユの遡上状況について (解禁前情報)

6月1日に多くの県内河川でアユ釣りが解禁となります。茨城県水産試験場内水面支場では、県内河川のうち久慈川堅磐堰(河口から約8km)と那珂川千代橋(河口から約30km)を調査定点とし、久慈川漁業協同組合および那珂川漁業協同組合の協力を得て、2月からアユの遡上調査を実施しました。その結果を以下のとおりまとめましたので、解禁前情報としてお知らせします。

### 1 アユの遡上状況

#### (1) 遡上初確認日について

調査定点での遡上初確認日は、久慈川で2月15日、那珂川で3月16日でした。久慈川では過去10年のうちでは最も早い遡上の確認となり、那珂川でも例年よりも比較的早期の遡上が確認されました。(表)

表 茨城県水産試験場内水面支場の調査による遡上初確認日と平均全長

年	久慈川 (堅磐堰)		那珂川 (千代橋)	
	月日	平均全長 (mm)	月日	平均全長 (mm)
令和 5 年	2月 15 日	81.7	3月 16 日	95.4
令和 4 年	2月 24 日	70.7	3月 15 日	79.0
令和 3 年	3月 17 日	78.7	3月 17 日	82.4
令和 2 年	3月 3 日	69.0	3月 13 日	80.6
平成 31 年	3月 5 日	71.1	3月 19 日	86.1
平成 30 年	3月 14 日	85.0	3月 20 日	83.5
平成 29 年	3月 21 日	74.9	3月 13 日	84.7
平成 28 年	2月 23 日	86.2	3月 23 日	81.1
平成 27 年	2月 25 日	70.2	3月 31 日	77.4
平成 26 年	3月 25 日	89.4	4月 2 日	87.0
平成 25 年	3月 15 日	84.8	3月 25 日	82.7



図 1 今年度の調査で初採捕された遡上アユ

(2) 遡上アユの採捕尾数の推移 (投網 10 投あたりに換算した採捕尾数で表示)

久慈川： 令和 5 年は 3 月下旬からこれまでの平均値 (平成 17 年～令和 4 年) を大きく上回る水準で推移し、4 月上旬に遡上のピークとなりました。その後も、5 月中旬まで 10 投当たり 100 尾以上の高い水準で推移しました (図 2)。このことから全体として今年の久慈川の遡上量は昨年よりも多く、平年を大きく上回ったものと考えられます。

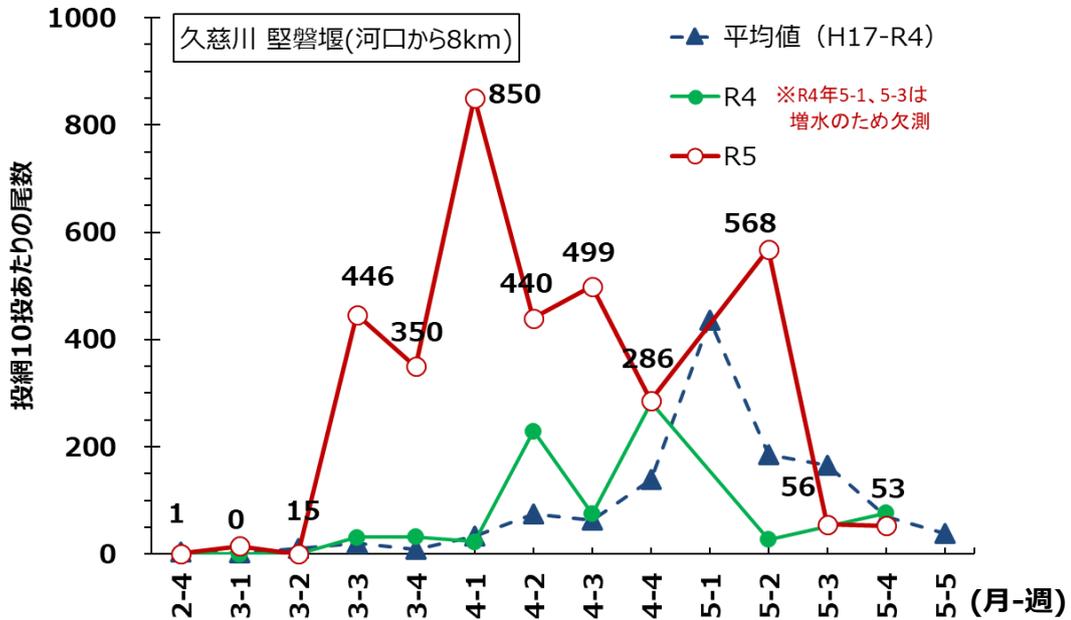


図 2 久慈川堅磐堰でのアユ遡上状況

那珂川： 令和 5 年は 4 月上旬からこれまでの平均値 (平成 17 年～令和 4 年) を大きく上回る水準で推移し、遡上のピークとなった 4 月下旬まで、10 投当たり 100 尾以上の高い水準が昨年や平均値よりも長く続きました。5 月中旬になり平均値をやや下回り、5 月下旬以降、昨年や平均値と同程度となりました (図 3)。このことから全体として今年の那珂川の遡上量も、昨年よりも多く、平年を上回ったものと考えられます。

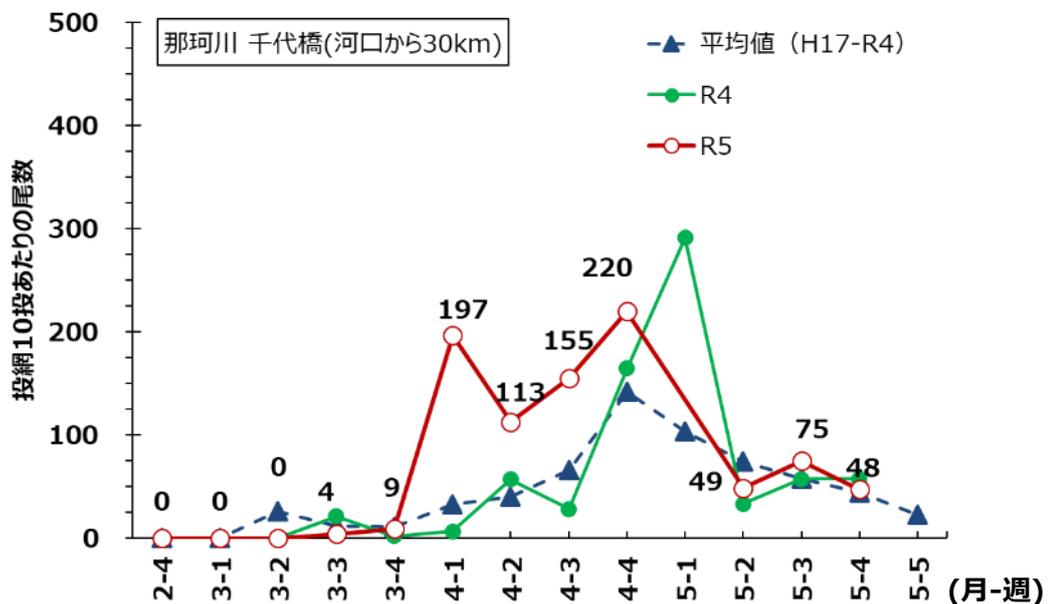


図 3 那珂川千代橋でのアユ遡上状況

## 2. 漁協の聞き取り結果

(1) 久慈川： 今年、稚アユの遡上初確認日が例年に比べて早く、遡上の盛期も3月下旬から5月中旬頃までと長く続きました。

また、遡上するアユの姿が非常に多くみられておりますし、コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことでもありますので、昨年以上の多くの釣り客の来訪と好釣果を期待しております。

(2) 那珂川： 今年の初遡上は、ここ数年に比べやや早い3月16日に確認されました。また、例年より早い4月上旬からアユの遡上が増え、4月下旬の遡上のピークまで、平均値を上回る遡上量でした。途中の小場江堰の魚道の様子を見ましても数多くのアユが跳ねているのがみえていました。こうした状況から、今年は期間を通して平年を上回る遡上があったとみえています。

シーズン中の釣れ具合は、天候や川の水量にも左右されますが、9年前から取り組んでいるアユの産卵場造成等の効果が出て、今年も多くのアユがみられているので、いい釣果となることを期待しております。



久慈川 (5月25日)  
平均全長：63.1mm



那珂川 (5月25日)  
平均全長：70.4mm

図4 今年度の直近の調査で採捕された遡上アユ

【参考】河川水温の推移

久慈川・那珂川の調査定点における水温は以下のとおりでした（図5）。

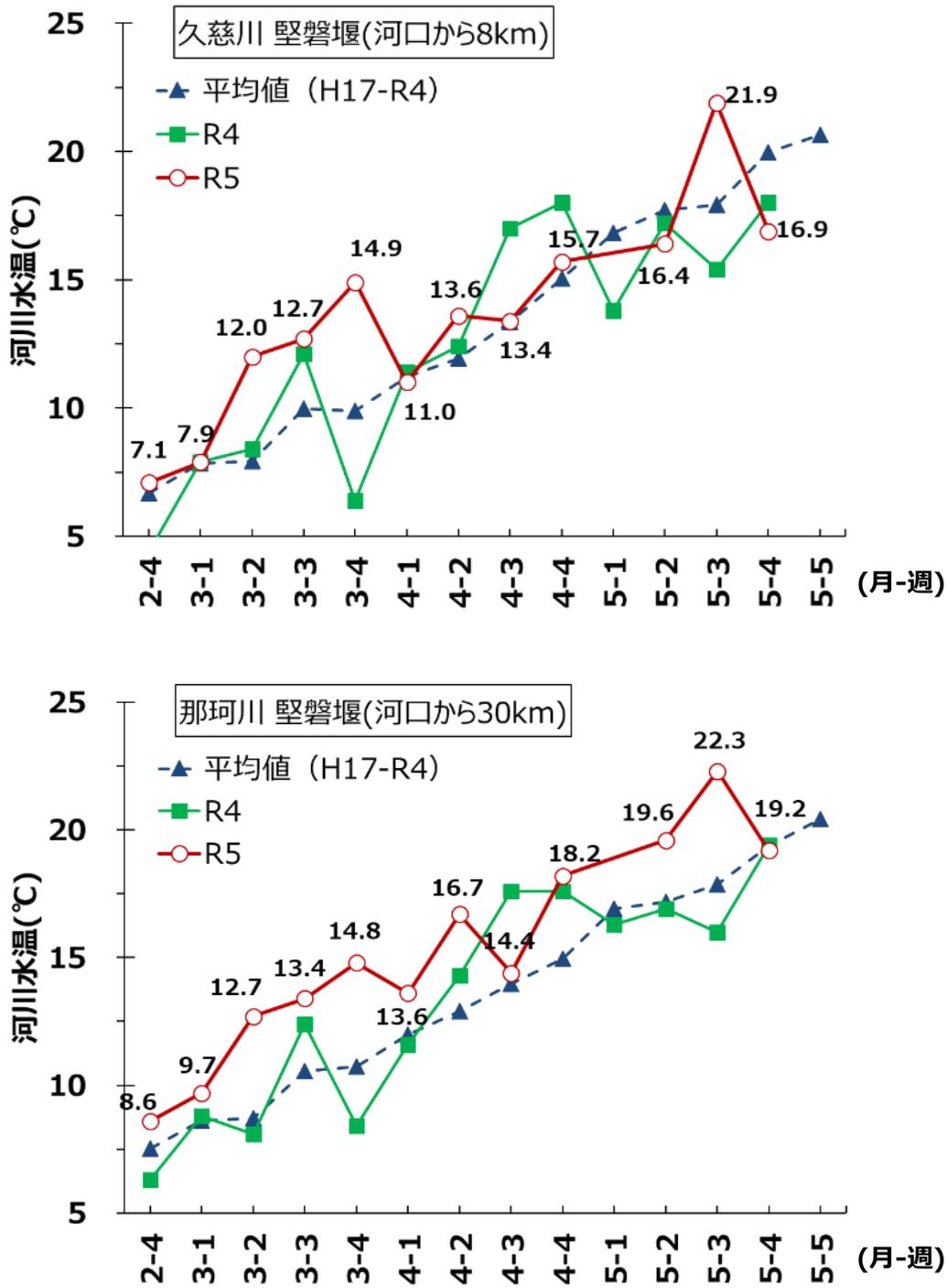


図5 調査定点における河川水温の推移  
 (上：久慈川堅磐堰、下：那珂川千代橋)